

ノートパソコン・タブレット導入により記録紙記入、転記作業がなくなった

法人名 : mirai株式会社
事業所名:ミライフーム

課題

- 記録を紙ベースで管理・記入していた為、記入者職員の手間が増えていた。
- 過去の記録を確認する際にも時間がかかっていた。

ICT機器 導入

ノートパソコン6台
タブレット2台



成果

- ①施設外用の職員にもパソコンを導入したことで現場での支援経過記録の入力が可能となった。
 - ②利用者ごとの記録一覧など、その都度、必要な形式で過去の記録を現場でも確認できるようになった。転記作業が減った。
 - ③クラウドへ常時バックアップを行い、データの紛失や保管場所が不要になった。 管理が容易になった。
 - ④記入間違い漏れがあっても修正が容易になった。
- ☆記入用紙が減少(1か月あたり60枚→0枚)
☆作業分担できるので記入時間が減少
(120分×20日=2400分→60分×20日=1200分)

業務効率化のステップ

〈ノートパソコン・タブレット端末導入〉

- ①現場で使用する書類等の洗出しをして、パソコンに置き換え可能かの検討を行った。
- ②導入クラウドサービス内容(詳細)必要なノートパソコンの台数の決定、ネットワーク状況の確認。
- ③職員で意見交換しクラウドサービスの使い方講習会をしてほしいという意見が出た。
- ④クラウドサービスの研修を行い、記録確認の仕方等、書類を整理し皆ができるように改善を行った。
- ⑤マニュアルの設置をした。

職員の声など

【良かった点】

記録作業が現場で入力でき、データが共有されているので各支援場所から確認できる。
誤字・脱字の訂正が出来るので見やすい支援経過記録になった。

【悪かった点】

記録内容の残し方を把握できないスタッフがいるため、入力を別のスタッフが行っていた。

【今後の課題・その他】

頻繁に入力作業の研修を行い、スタッフでの作業量に差が出ないようにする。

